



雨が降る雲と降らない雲は、どうちがうの

空の高い所にある雲

青空に、細い筋のような雲を見ることがあります。これを巻雲、または、すじ雲といいます。この雲は、高さが10キロメートルぐらいの所にあります。まわりの気温が低いために、小さな氷のつぶが集まってできています。

また、この雲は厚みがなく、雲の中の氷のつぶの量が少ないので、雨を降らせることはほとんどありません。

雨を降らせる雲

雨を降らせる雲は、空の低い所にある雲で、厚さが厚い雲です。

高い所にある雲から、雨が降ってきたとしても、地上につくまでの間に、蒸発してしまうことがあります。

雲の厚さが厚いと、水や氷のつぶが、たくさんふくまれているので、雨になって降ってくるものが多くなります。

雨を降らせる雲には、乱層雲(雨雲)があります。乱層雲は、高さが0.5~1キロメートルぐらいの所にある、暗い灰色の雲です。

雲があるからといって、いつも雨が降るわけではありません。雨が降る雲か、降らない雲かのちがいは、雲の高さと厚さに関係しています。(監修・村山 貢司)

